

柏崎市環境基本計画 第3次計画 令和7（2025）年度報告

【基本情報】

計画期間	令和元（2019）年度～令和10（2028）年度
基本理念	健全で恵み豊かな環境を保全し良好な状態で将来世代に継承する
望ましい地域像	自然と人の営みとの調和 ―現実を見つめ、理想を求める柏崎―

【基本目標・取組の方向性】

基本目標	取組の方向性
1 地球温暖化対策の推進	(1)温室効果ガス排出量削減に向けた取組の推進
	(2)温暖化対策に関する意識の醸成
2 資源の有効活用	(1)廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用(3R)活動の推進
	(2)廃棄物の適正処理の推進
3 美しい自然と生活環境の維持保全	(1)美しい自然環境の維持保全
	(2)不法投棄の防止と環境美化の推進
	(3)公害防止対策の推進

●基本目標 1 地球温暖化対策の推進

取組の方向性(1)温室効果ガス排出量削減に向けた取組の推進

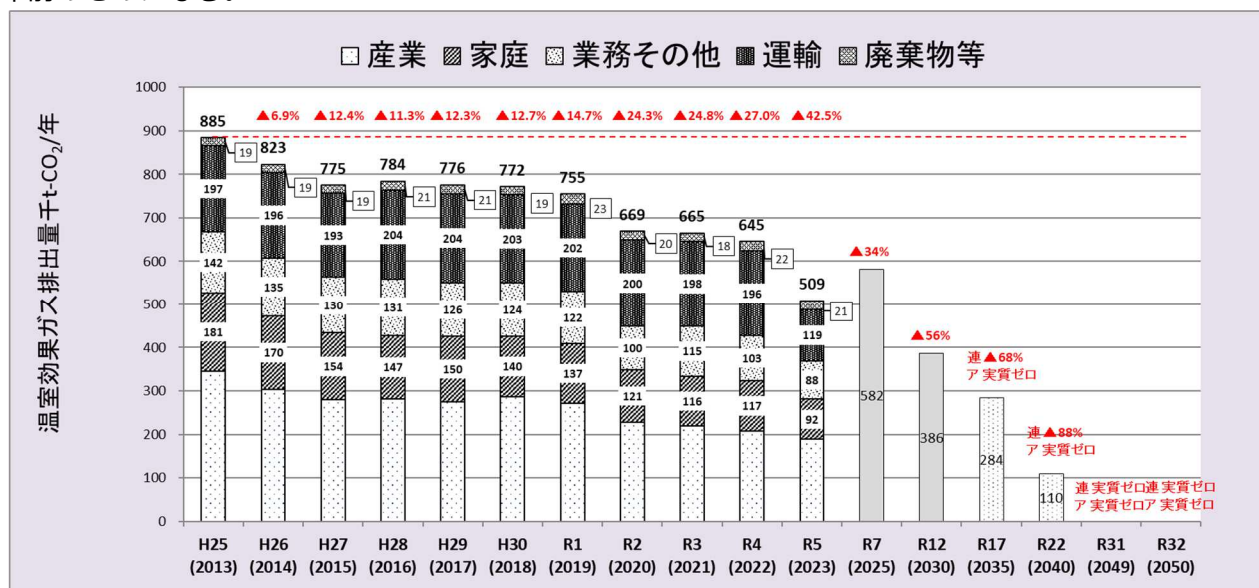
【目標指標】温室効果ガス排出量

基準年度・目標年度	推計手法更新前	推計手法更新後	
		本市アドバンテージの最大限活用ケース	市民・事業者・行政連携ケース
H25(2013)年度 基準年度	926 千 t - CO ₂	885 千 t - CO ₂	885 千 t - CO ₂
R7(2025)年度	741 千 t - CO ₂ (▲20%)	582 千 t - CO ₂ (▲34%)	582 千 t - CO ₂ (▲34%)
R12(2030)年度	500 千 t - CO ₂ (▲46%)	386 千 t - CO ₂ (▲56%)	386 千 t - CO ₂ (▲56%)
R17(2035)年度	実質ゼロ	実質ゼロ	284 千 t - CO ₂ (▲68%)
R22(2040)年度	実質ゼロ継続	実質ゼロ継続	110 千 t - CO ₂ (▲88%)
R31(2049)年度	実質ゼロ継続	実質ゼロ継続	実質ゼロ
R32(2050)年度	実質ゼロ継続	実質ゼロ継続	実質ゼロ継続

【目標指標】温室効果ガス排出量

年度	排出量
R3(2021)年度	665 千 t - CO ₂ (▲24.8%)
R4(2022)年度	645 千 t - CO ₂ (▲27.0%)
R5(2023)年度	509 千 t - CO₂ (▲42.5%)

※国や県が公開しているエネルギー活動量や市の人口等で按分して算出しているため、実績年度が3年前のものになる。



柏崎市の温室効果ガス排出量 (単位：千 t-CO₂)

市では、市民や事業者に対して、低炭素型創エネ・省エネ設備機器設置の補助金や啓発事業を実施している。また、公共施設においては、再生可能エネルギーの導入検討を行い、効果がある施設に対して、積極的に設備を導入している。今後も引き続き温室効果ガスの削減目標に向けて取り組んでいく。

【施策方針】令和 7(2025)年度の取組・実績

○再生可能エネルギー・次世代エネルギーの利活用・産業化の促進

- ・水素を利用した新たな事業開発に取り組む事業者と定期的な意見交換を行い、取組を支援した。
(環境課)
- ・柏崎あい・あーるエナジー株式会社と連携し、北条太陽光発電所（太陽光発電設備 590kW、レドックスフロー電池 8,000kWh）及び荒浜小学校新校舎屋上を活用したオンサイト PPA（太陽光発電設備 67.86kW、蓄電池 45kWh）の運用を開始し、これまでに市と柏崎あい・あーるエナジーが整備した発電所と合わせて、同社が運用し、発電された電力を市内 75 施設に供給した。（公共 62 施設、指定管理 10 施設、民間 3 施設）
また、市内事業者への供給拡大に向けて、新たに未利用市有地の西山総合グラウンド多目的広場に発電所を整備した。（太陽光発電設備 613.6kW とレドックスフロー電池 8,000kWh 併設）
さらに、将来的に電源開発を行う適地を未利用市有地から見定めることを目的に、再生可能エネルギー導入実現可能性調査を行い、次年度以降の電源開発用地を明らかにすることができた。（電源エネルギー戦略課）

○建築物の省エネ改修や高効率機器の普及促進

- ・家庭を対象に、低炭素型創エネ・省エネ機器導入支援のための補助金を 15 件交付した。（環境課）

○補助金申請数（単位：件）

区 分	年 度	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
燃料電池設備		12	9	5	2
地中熱ヒートポンプ空調・給湯設備		0	0		
木質バイオマスストーブ		5	0		
H E M S + 蓄電池		4	1	5	8
太陽光発電設備 + H E M S + 蓄電池		5	6	9	5
高効率給湯器			23		

- ・施設の改修及び大規模改修に合わせ LED 照明への交換を実施した。
空調機器の新設や入替の際には、高効率や省エネの空調機を選定している。（建築住宅課）
 - ・空調機器の新設（特別教室 5 件）
半田小学校、比角小学校、柏崎小学校、第一中学校、瑞穂中学校
 - ・空調機器の入替（GHP2 件）
第二中学校、西山町いきいき館

○次世代自動車の普及促進、公共交通機関の利用促進

- ・電気自動車等購入に対し、国補助金に上乗せして、EV に 11 件、PHV に 9 件の補助金を交付した。また、新たに購入する電気自動車用の家庭用充電設備の設置 5 件に対し補助金を交付した。

(環境課)

○電気自動車等購入補助金交付件数 (単位：件)

区 分	R4(2022) 年度	R5(2023) 年度	R6(2024) 年度	R7(2025) 年度
交付件数	27	46	22	20

- ・AI (人工知能) を活用した予約型乗合交通の AI 新交通あいくるを運行し、令和 7(2025)年度は、目標値を大幅に上回る年間 31,398 人の利用があった。また、当該交通の利用促進に向けては、以下の取組を実施した。(企画政策課)

- ・郊外 4 地区において利用説明会を開催：累計実施回数 33 回、参加者数 627 人
- ・郊外 4 地区において A I 新交通あいくる利用ガイドブックの作成及び全戸配布

- ・その他、以下のとおり公共交通の利用促進事業を実施した。(企画政策課)

- ・路線バス高齢者割引制度の実施 (専用回数券販売実績：1,695 綴り)
- ・高校生等路線バス通学割引キャンペーンの実施 (回数券販売実績：800 冊)
- ・園児による市街地循環バス車内音声アナウンス収録 (柏崎保育園・比角保育園)
- ・鉄道通学定期購入促進キャンペーン (応募者数：64 人)
- ・特急しらゆきと上越新幹線を組み合わせた企画列車の実施 (参加者数：40 人)

取組の方向性(2)温暖化対策に関する意識の醸成

【目標指標】環境教育受講者数

基準値 H29(2017)年度	目標値 R10(2028)年度	実績 R7(2025)年度	前年度実績 R6(2024)年度
744 人	現在値より増加	490 人	585 人

【目標指標】ECO2 プロジェクト参加登録事業者数

基準値 H29(2017)年度	目標値 R3(2021)年度	実績 R7(2025)年度	前年度実績 R6(2024)年度
234 事業者	300 事業者	1,701 事業者	1,722 事業者

【施策方針】令和 6(2024)年度の取組・実績

○市民・事業者に向けた温暖化対策の意識啓発の推進
・環境教育プログラムを 3 校 152 人、エコ教室をのべ 6 回 338 人実施した。そのほか、ふれあい講座(25 人)及び、かしわざきこども大学(26 人)にて合わせて 51 人に対して環境に関する講義を行った。 環境教育プログラム及びエコ教室では、子どもを対象とした環境教育の場としており、年代に応じたプログラムを展開した。また、かしわざきこども大学エネルギーのまち柏崎探求コースでは、実際に市内における脱炭素施設を見学することにより、理解促進を図った。(環境課) ・ECO2 プロジェクトへ、新たに 2 事業者が登録したが、事業者の閉業等があり登録事業者が年度末時点で 1,701 事業者に減少した。 登録事業者数は多いものの、実際に ECO2 プロジェクトに取り組む事業者数が少ないことから環境活動を行うメリットを継続的に周知していく。(環境課)

●基本目標 2 資源の有効活用

取組の方向性(1)廃棄物の発生抑制・再使用・再生利用(3R)活動の推進

【目標指標】ごみの総排出量

基準値 H29(2017)年度	目標値 R7(2025)年度	実績 R7(2025)年度	前年度実績 R6(2024)年度
28,683 t	24,712 t	23,833 t	24,552 t

【目標指標】1人1日当たりのごみの排出量

基準値 H29(2017)年度	目標値 R7(2025)年度	実績 R7(2025)年度	前年度実績 R6(2024)年度
928 g	869 g	879 g	889 g

【目標指標】リサイクル率

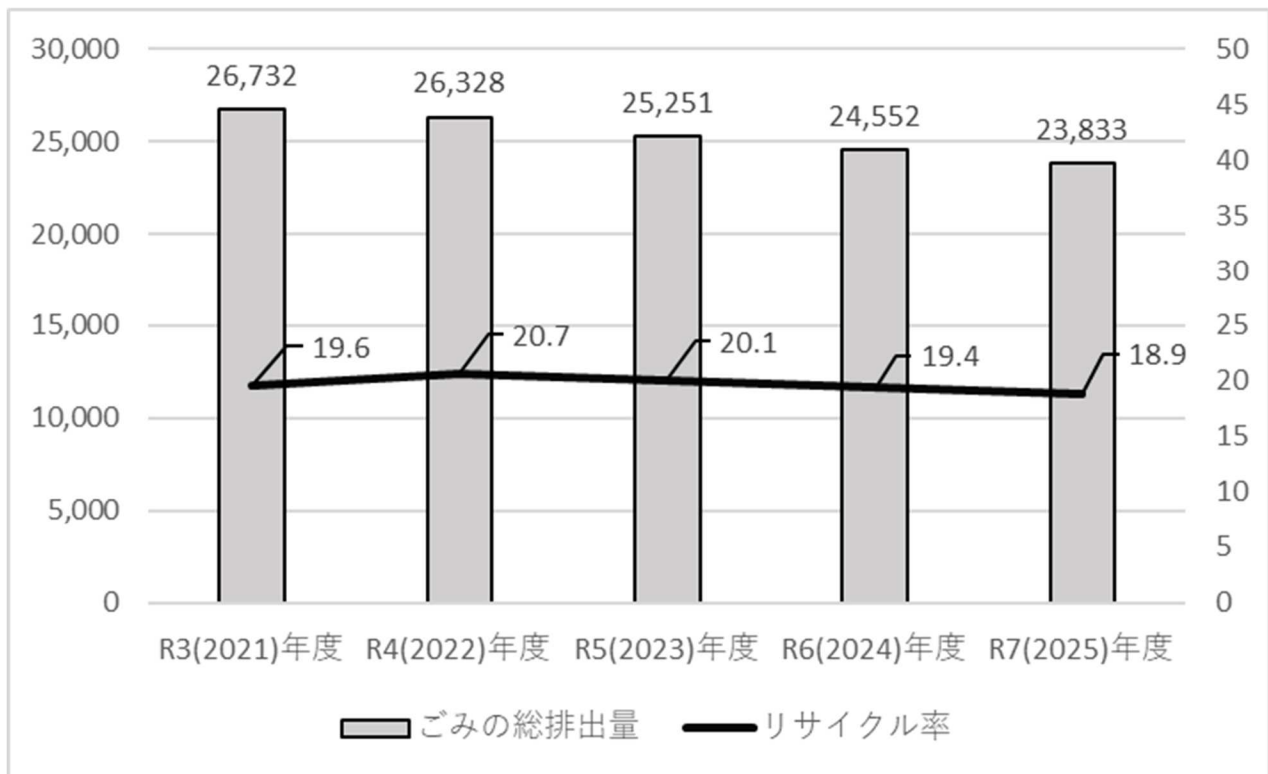
基準値 H29(2017)年度	目標値 R7(2025)年度	実績 R7(2025)年度	前年度実績 R6(2024)年度
19.6%	23.1%	18.9%	19.4%

○ごみの排出量とリサイクル率の推移

区 分 \ 年 度	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
燃やすごみ (t)	20,379	19,864	19,088	18,776	18,223
燃やさないごみ (t)	591	551	584	533	573
粗大ごみ (t)	514	462	516	480	521
資源物 (t)	5,248	5,451	5,063	4,763	4,516
合 計	26,732	26,328	25,251	24,552	23,833
リサイクル率	19.6%	20.7%	20.1%	19.4%	18.9%
年度末住民基本台帳人口(人)	79,668	78,167	76,877	75,627	74,260
年度末世帯数(世帯)	34,800	34,628	34,638	34,565	34,480
1日当たり排出量 (t)	73	72	69	67	65
1人1日当たり排出量(g)	919	923	900	889	879

※燃やさないごみ、粗大ごみは、施設再回収金属を除く。

※資源物は、施設再回収金属を含む。



ごみの総排出量とリサイクル率の推移（単位：t、%）

広報、ホームページで、ごみの排出抑制と分別の徹底を引き続き啓発した。

全体的に排出量が減少している中で、せんてい枝・庭の草が減少、またデジタル化やペーパーレス化により雑誌・雑紙などが減少したことが要因と考えられる。

【施策方針】令和 7(2025)年度の取組・実績

○廃棄物の循環的利用の促進

- ・町内会から排出される資源物を適正に管理するために、町内会資源物ステーション設置に対し、3町内会に補助金を交付した。

※ 1 町内会につき、事業費の 2 分の 1（1 町内会の上限額は 50,000 円）を補助。（環境課）

○リサイクルセンター利用者数

区 分		年 度	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
利用者数 (人)	松波 RC		150,191	166,525	168,079	174,014	91,351
	佐藤池 RC						56,564
	西本町 RC		45,562	54,034	58,492	60,883	114,277
	佐藤池 RS			4,880	21,711	27,198	17,442
	松波 RS						20,588
	合計		195,753	255,439	248,282	262,095	300,222
回収量 (kg)	松波 RC		744,681	765,894	703,396	683,747	372,796
	佐藤池 RC						231,164
	西本町 RC		238,327	257,031	256,537	269,391	297,770
	佐藤池 RS			28,026	98,099	122,530	70,633
	松波 RS						65,716
	合計		983,008	1,050,951	1,058,032	1,075,668	1,038,079

※開設日 リサイクルセンター（RC）：水曜日・土曜日・日曜日

リサイクルステーション（RS）：火曜日・木曜日・土曜日

※松波 RC 及び佐藤池 RS は令和 7(2025)年 10 月末で閉鎖、佐藤池 RC 及び松波 RS は令和 7(2025)年 11 月開設

〇3R に関する意識啓発の推進

- ・小学生や市民団体のクリーンセンター施設見学時において、3R の意識啓発を行った（小学生 16 回 535 人、市民団体等 1 団体）（環境課）
- ・柏崎市消費者協会において以下の事業を行った。（事務局：市民活動支援課）
 - ・5 月 24 日学習会「環境にやさしい柏崎を目指す～地域で活かす脱炭素エネルギー～」を開催した。（29 人参加）
 - ・9 月 7 日消費生活講演会「私たちは何を捨てているのか ～食品ロス削減と環境問題の関連について～」を開催した。（83 人参加）
 - ・10 月 26 日秋の収穫祭に協会員 5 人が参加し、遊休品等を販売した。
 - ・11 月 16 日わら細工講習会を開催し、脱穀後の藁を使って鍋敷きを作った。（13 人参加）
 - ・11 月 24 日さんぶんフリーマーケットに協会員 4 人が参加し、遊休品等を販売した。
 - ・2 月 21 日地産地消をテーマに魚料理講習会を開催した。（24 人参加）

取組の方向性(2)廃棄物の適正処理の推進

【目標指標】最終処分埋立量累計（埋立率）

基準値 H29(2017)年度	目標値 R10(2028)年度	実績 R7(2025)年度	前年度実績 R6(2024)年度
49,666 m ³ 48.7%	75,593 m ³ 74.1%	約 67,054 m³ 66.0%	約 65,028 m ³ 63.8%

※埋立最大容量 102,000 m³として計算

【目標指標】廃棄物処理施設処理基準達成率（排出ガス基準・水質基準）

基準値 H29(2017)年度	目標値 R10(2028)年度	実績 R7(2025)年度	前年度実績 R6(2024)年度
排出ガス 100% 水質 100%	排出ガス 100% 水質 100%	排出ガス 100% 水質 100%	排出ガス 100% 水質 100%

【施策方針】令和 7(2025)年度の取組・実績

○廃棄物の処理過程の適正管理
・適切に埋立を実施した。（環境課） ・ごみ処理場、最終処分場の機能維持を目的にオーバーオールを実施、最終処分場では高圧コンデンサの更新を行い適正な管理に務めた。（環境課）
○廃棄物エネルギーの有効活用
・新ごみ処理場建設のため、仮設事務所等の建設及び松波リサイクルセンター等の既存施設の解体工事を実施した。（環境課）

●基本目標 3 美しい自然と生活環境の維持保全
取組の方向性(1)美しい自然環境の維持保全

【目標指標】造林※事業面積（累計）

基準値 H29(2017)年度	目標値 R10(2028)年度	実績 R7(2025)年度	前年度実績 R6(2024)年度
292.3ha	1,069.3ha	782.9ha	737.2ha

※造林とは、下草刈りや伐採など含め、人の手が入った森林をさす。

【施策方針】令和 7(2025)年度を取組・実績

○森林河川・里地里山や生物多様性の維持保全
・主伐や間伐、下刈等の森林整備を実施した。（市有林 2.4ha、民有林 43.3ha）（農林水産課） ・生息域が拡大する鳥獣について、人身被害・農作物被害を未然に防止し、市民が安全・安心に生活できる環境を確保するため、「柏崎市鳥獣被害対策実施隊」による有害鳥獣の出没対応に取り組むとともに有害鳥獣捕獲対策としてイノシシ 299 頭、ニホンジカ 14 頭を駆除した。（環境課） ・農地の侵入防止対策として、鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、電気柵 29,570mを整備した。（環境課） ・有害鳥獣の捕獲作業の安全性の確保及び作業の効率化を更に図るため、わなの作動状況を遠隔監視する ICT 機器の装置などの資機材の拡充を行った。（環境課） ・持続的な有害鳥獣対策を進めるため、狩猟免許の支援を実施し有害対策の担い手の確保に取り組んだ。（環境課）
○自然環境に関する市民学習の推進
・市内の小学生などを対象として、さけ学習を実施した。（8 団体 283 人）（農林水産課） ・親子体験ツアーを 9 月 20 日に実施した。（14 組 30 人）（農林水産課）

取組の方向性(2)不法投棄の防止と環境美化の推進

【目標指標】クリーンデー柏崎の参加率

基準値 H29(2017)年度	目標値 R10(2028)年度	実績 R7(2025)年度	前年度実績 R6(2024)年度
前年度末人口の 28.4%	前年度末人口の 31.0%	16,120 人 21.3%	16,734 人 22.1%

【施策方針】令和 7(2025)年度の取組・実績

○不法投棄対策

- ・不法投棄防止の啓発看板の設置及び広報かしわざき等で啓発に加え、警察等関係機関と連携し、パトロールや回収作業を実施した。（環境課）

(1) 不法投棄回収等職員出動件数（単位：件）

年 度	R3(2021)年度	R4(2022)年度	R5(2023)年度	R6(2024)年度	R7(2025)年度
件 数	28	25	21	56	26

(2) 令和 7(2025)年度撤去した不法投棄の種類とその数量

家庭ごみ（袋）	空き缶・空き瓶(袋)	テレビ（台）	廃家電（台）	家具類（台）	布団・カーペット(枚)
29	4	0	10	6	6
自転車（台）	金属くず（kg）	廃プラスチック（袋）	タイヤ（本）	その他（袋）	
0	0	23	8	0	

○環境美化の推進

- ・クリーンデー柏崎を 6 月 1 日に実施した。（環境課）

雨により延期、中止をする町内会もあったが、延べ 16,120 人が参加した。

参加町内会：273 町内会 ※6/1 参加町内会 166 町内会、6/1 以外 107 町内会

回収量：燃やすごみ 60.1 t、燃やさないごみ 7.8 t、側溝汚泥 95.9 t

ごみ拾い：234 町内会、草刈：186 町内会、海岸・河川：10 町内会、側溝清掃：183 町内会、緑

化活動：38 町内会、クリーン登山：1 町内会（重複町内会あり）

取組の方向性(3)公害防止対策の推進

【目標指標】環境基準の達成率（水質）

※国の示す水質汚濁に係る「環境基準」とは異なりますが、本市の基本計画では、海水浴場の水質調査を一つの指標として設定しています。

基準値 H29(2017)年度	目標値 R10(2028)年度	実績 R7(2025)年度	前年度実績 R6(2024)年度
100%	100%	100%	100%

海水浴場開設前に水質調査を実施し、15 調査地点のうち 14 地点で「適」1 地点で「可」の評価となり、「不適」の海水浴場はなかった。

(1) 海水浴場測定結果（開設前）

海水 浴場	石地	大崎	長浜	高浜	中央	番神・ 西番神	東の輪	鯨波・ 西鯨波	薬師堂	笠島	米山	青海川	上輪
判定	AA	AA	AA	AA	B	AA	AA	AA	AA	AA	AA	AA	AA

（参考）海水浴場の水質の判定基準

区 分		C O D	ふん便性大腸菌群数	油膜の有無	透明度
適	水質 A A	2mg/L 以下 (湖沼は 3mg/L 以下)	不検出 (検出限界 2 個/100mL)	認められない	全透（1m 以上）
	水質 A	2mg/L 以下 (湖沼は 3mg/L 以下)	100 個/100mL 以下	認められない	全透（1m 以上）
可	水質 B	5mg/L 以下	400 個/100mL 以下	常時は認められない	1m未満～50cm 以上
	水質 C	8mg/L 以下	1,000 個/100mL 以下	常時は認められない	1m未満～50cm 以上
不 適		8mg/L 超	1,000 個/100mL を超えるもの	常時認められる	50cm 未満

(2) 河川水質評価基準

No.	河川名	測定地点	類型	測定値 基準値	pH	DO (mg/L)	BOD (mg/L)	SS (mg/L)
1	鯖石川	山根橋	A	測定値	7.3	11.3	0.9	18.5
				基準値	6.5~8.5	7.5 以上	2 以下	25 以下
2		天保橋	B	測定値	7.4	10.8	1.2	15.3
				基準値	6.5~8.5	5 以上	3 以下	25 以下
3		安政橋	C	測定値	7.3	9.8	1.4	20.8
				基準値	6.5~8.5	5 以上	5 以下	25 以下
4	鵜川	野田大橋	A	測定値	7.5	11.0	0.8	7.3
				基準値	6.5~8.5	7.5 以上	2 以下	25 以下
5		八坂橋	B	測定値	7.3	9.8	2.5	7.7
				基準値	6.5~8.5	5 以上	3 以下	25 以下

※A 類型 鯖石川：安田より上流、鵜川：新道より上流

B 類型 鯖石川：安田～中田、鵜川：新道～河口

C 類型 鯖石川：中田～河口

※調査結果は、年 12 回（毎月）測定の平均値である。

※表の値はあくまで速報値であり、確定した値ではない。

参考 河川水質調査



【目標指標】環境基準の達成率（騒音）

基準値 H29(2017)年度	目標値 R10(2028)年度	実績 R7(2025)年度	前年度実績 R6(2024)年度
100%	100%	100%	81%

北陸自動車道沿道 10 か所及び環境騒音 13 か所の騒音測定を実施し、北陸自動車道沿道は全ての地点で環境基準を達成し、環境騒音は 13 回の測定のうち 13 か所で環境基準を達成した。（環境課）

（１）環境騒音測定結果（上段：昼 下段：夜）

番号	測定地	環境基準	環境基準	測定値	番号	測定地	環境基準	環境基準	測定値
		法区域区分	(dB)	R7 年度			法区域区分	(dB)	R7 年度
1	宮場町	A	55	48	8	米山台 1 丁目	B・幹線	70	63
	枇杷島コミセン	2	45	40		トップテリアタミ	2	65	59
2	北園町	A	55	42	9	桜木町	B	65	64
	公営住宅集会所	2	45	39		K 宅	2	60	55
3	新赤坂 2 丁目	A・幹線	70	64	10	三和町	C	60	54
	K 宅	1	65	60		柏崎総合庁舎	4	50	47
4	松波 2 丁目	A・幹線	70	64	11	豊町	C	60	49
	S 宅	2	65	55		柏崎市総合福祉センター	4	50	39
5	西本町 3 丁目	B	55	41	12	鏡町	C・幹線	70	60
	喬柏園	2	45	39		柏崎地域振興局	3	65	51
6	中央町	B	55	48	13	諏訪町	C・幹線	70	64
	旧柏崎市役所	2	45	43		太刀川薬品	3	65	54
7	両田尻	B 幹線	70	62					
	T 宅	2	65	52					

（２）北陸自動車道の沿道騒音測定結果

調査地点			昼 間		夜 間	
環境基準類型	法区域区分	地点名	環境基準	測定結果	環境基準	測定結果
B に相当	未指定	南半田① H 宅	65	55	60	54
		南半田② K 宅		58		55
		下 方 T 宅		51		50
		西山町北野 I 宅		53		51
		藤 井 M 宅		57		53
		下田尻 U 宅		56		50
		茨 目 M 宅		52		55
		向陽町 T 宅		62		59
		米山町 T 宅		58		56
C 地域	3 種	上田尻 Y 宅	65	53	60	51

【施策方針】令和 7(2025)年度の取組・実績

○大気・水質・騒音・振動・悪臭等の監視、指導

- ・市民からの騒音や悪臭に対する相談や苦情に即時対応し、現地調査及び指導を実施した。（46 件）（環境課）

○過去 5 年間の公害苦情等種類別発生件数（単位：件）

種別 \ 年度	R 3(2021)	R 4(2022)	R 5(2023)	R 6(2024)	R 7(2025)
大気	0	0	0	6	2
水質	1	6	4	5	3
騒音	11	4	8	12	12
振動	2	2	0	6	5
悪臭	6	6	4	6	9
その他	0	5	6	4	15
合計	20	23	22	39	46

○苦情対応例（3 件）

種別	苦情内容	対応・結果
大気	野焼きをしているため、注意してほしい。	警察署に連絡し、廃棄物処理法違反にて事件にて立件、指導。（最近の山火事案件による。）
騒音	昼間、ドラムを叩いていてうるさい。	発生原因者に、苦情事実を伝え、指導。
悪臭	飲食店の香辛料の悪臭がひどい。	店主に営業時間は店出入口を閉めるよう指導。

○地盤沈下対策

- ・地下水観測用井戸 6 本により、各地点の水位変動調査を実施した。また、地盤沈下監視用水準測量 (28km)を実施した。（環境課）